

OTS-Scan検体の取り扱い

【A】 生検FFPE検体

■推奨

FFPEブロックの保管期間：1年未満

■条件

▷ 未染標本を用意可能な場合

1. 未染標本（8 μ m）20枚

A) スライドあたり5-6個以上の
生検検体（各2-3mm）



B) 腫瘍が少ない場合：

総組織量が1mm³に達するまで
未染枚数を追加すること

2. 同一ブロックの最終切片を用いた
H&E染色標本2枚（病理標本番号
記載）

3. 病理診断報告書のコピー

▷ 未染標本を用意できない場合

1. FFPEブロック1～2個
（主要ブロック）



2. H&E染色標本1枚（病理標本番号
記載）

3. 病理診断報告書のコピー

【B】 手術FFPE検体

■推奨

FFPEブロックの保管期間：5年未満

■条件

▷ 未染標本を用意可能な場合

1. 未染標本（8 μ m）8枚

A) スライドあたりの腫瘍面積：
25mm²以上（トリミング後）



B) 25mm²未満の場合：

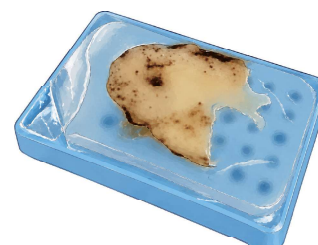
総組織量が1mm³に達するまで
未染枚数を追加すること

2. 同一ブロックの最終切片を用いた
H&E染色標本2枚（病理標本番号
記載）

3. 病理診断報告書のコピー

▷ 未染標本を用意できない場合

1. FFPEブロック1～2個
（主要ブロック）



2. H&E染色標本1枚（病理標本番号
記載）

3. 病理診断報告書のコピー

OTS-Scan検体の取り扱い

【A】【B】 共通の注意事項

■基本事項

- ▷ 提出されたH&E標本は返却不可
- ▷ 未染標本スライドには病理標本番号および通し番号（枝番号）のみ記載（患者氏名など個人情報記載しない）
- ▷ 貸与ブロックは1～2か月後に返却
- ▷ 標本作製費および送料は依頼元施設負担
- ▷ 発送は室温

■作製済み標本に関する確認点（作製時の条件）

- ▷ 固定：10%中性緩衝ホルマリン
- ▷ 骨検体：EDTA脱灰のみ
- ▷ 腫瘍細胞率：30%以上（トリミング可）
- ▷ スライド貼付：最大2枚まで可
- ▷ 複数貼付した場合は依頼書にその旨を記載
- ▷ 加熱伸展は避け、常温管理

■コンタミネーション防止

- ▷ ミクロトーム刃を新品に交換
- ▷ 新品グローブを使用
- ▷ 水槽の水を新しいものに交換

【C】 抽出済みDNA

■条件

- ▷ 総DNA量：300ng以上推奨
- ▷ 保管方法：-20℃以下で凍結
- ▷ 抽出後保存期間：1年以内

■容器

- ▷ 1.5mlマイクロチューブ（滅菌済み・漏れ防止キャップ）
*チューブのメーカー等については要相談

■ラベリング

- ▷ 容器には研究IDもしくは研究用患者管理番号を記載

■発送方法

- ▷ 冷蔵（4℃）または冷凍便（-20℃）



総DNA量：300ng以上推奨